

一般質問から

「川の消火基地」整備について

Q 埼玉県は、県南部の八潮市など6市域を対象に、今年度から3カ年事業として「川の消火基地整備事業」を展開しています。同時に、国も中川などに同施設を整備するとしていることから、潮止橋付近への設置を求めたいと思いますがいかがでしょうか。

18番 鹿野 泰司
埼玉県土整備部河川砂防課では、中川や綾瀬川など国が管理する直轄河川について国土交通省にも協力をいただき、利用可能な箇所を選定すると伺っています。本市としては、埼玉県との会議等の機会をとらえて、潮止橋付近も含め中川、綾瀬川への設置場所を提案していきたいと考えております。



A この事業は、災害時の消防水利として都市河川を利用するものです。八潮市では今年度、堀川に5カ所の設置可能な場所を報告しています。また、大場川についても検討していききたいと思っております。

風疹予防接種助成金について

Q 県内の市町村において風疹の予防接種に対する助成事業を始めるところが多くなりました。八潮市でも流行しない為に予防し、社会全体で感染から妊婦や赤ちゃんを守らなくてはならないと考えます。国や県が対策を講じなければ市が行うべきですが、考えを伺います。

14番 瀬戸 知英子
一部助成を始めている自治体もありますが、本市では任意予防接種である風疹予防接種については今のところ助成する予定はありません。一人一人が自分の安全の問題として考え、予防接種を積極的に考えていく必要があると思えます。市としては、今後、国、県の状況を踏まえ対応を検討してまいります。

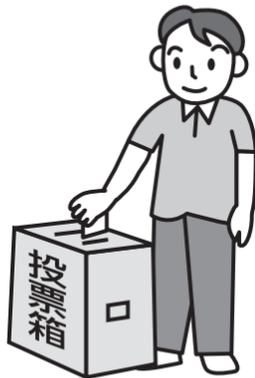


A 昨年から風疹が全国的に増加傾向にあり、東京や神奈川県では予防接種の一部助成を始めています。埼玉県においては患者数の推移を見極め判断する見解を示しています。県内市町の中には独自にワクチンの

投票率向上対策について

Q 5月末、20歳代の投票立会人の募集が締め切られました。募集状況や理想の人数についてお聞きします。

19番 森下 純三
今回は男性5名、女性6名、計11名の応募がありました。投票所は市内21カ所あります。各投票所に一人は若者が選任されることが望ましいと考えます。



学力向上について

Q 現在、本市では、3年生以上の児童生徒を対象に、授業の補充学習や朝自習、家庭学習のための教材「八潮Basic I・II」を使用しています。そこで、どの程度、基礎学力が向上しているのか等、検証をする必要があると感じますが、教育委員会としての見解をお聞きます。

2番 朝田 和宏
必要であり、教育委員会としても、現在、県で実施している基礎的な学習内容の習得状況を調査する「教育に関する3つの達成目標」の調査結果をひとつの指標として検証を行っているところと見なしております。今後、国、県で行う学力・学習状況調査等の結果を有効に活用するなど、検証に努めてまいりたいと思っております。

A 基礎学力の定着を確認するために、3校の中学校ではBasic活用後、確認テストや検定試験を実施しています。議員ご指摘のとおり、本市の基礎学力の向上についての検証



保育所の入所について

Q 市の待機児童のカウントの仕方は、国基準に準じているのか。見直していく見通しは。

9番 池谷 和代
待機児童数の把握の仕方については、全国一律で実施する厚生労働省の調査基準において示されています。「保育所入所待機児童の定義」に基づき、把握するものです。待機児童数の把握の仕方の見直しについては、国の基準に基づくものであり現時点において基準の大幅な変更を確認していませんので、今後も引き続き現行の基準に基づき適切に把握していききたいと考えています。保育所申込みの段階で求職中であっても勤務を開始された場合は「保育に欠けるもの」と判断し保育所入所選考基準の見直しを行い、保育に入所してもらいます。



市歌『川に抱かれて』について

Q 平成4年1月15日、市政施行20周年記念8大事業のひとつとして生まれた八潮市の歌『川に抱かれて』。

1番 福野 未知留
と考える。市の見解を伺いたい。

「歌いやすく親しみやすく、そして長く歌い継がれていくように」との提言により【作詞・作曲 小椋桂】【歌唱 デュエッタ イセスとファイヤークラッカーズ】、カセットテープ700本が税込850万円で作成された。

A 八潮市の歌『川に抱かれて』、全市民に周知することを理想と考えている。広聴広報課にて音源の貸し出しをおこなっていること、市のホームページでダウンロードができることなど、様々な方法でPRをしながら普及を図ってまいります。

この八潮市の歌『川に抱かれて』を市民の誰もが母校の校歌のようにくちざさめることが理想的で、ふるさと意識醸成のよききっかけになるのではないかと

新しく八潮市にいらした方はじめ、より多くの方に周知するため、この歌のメロディを、市庁舎の電話保留音として活用できないか検討している。